

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 10 月 27 日

計画の名称	1 幸手市の環境整備の実現																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)				交付対象		幸手市										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
①下水道処理人口普及率が43.0％(H22)から44.3％(H26)に増加させる。 ②下水道整備率が71.4％(H22)から83.9％(H26)に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)						
① ①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）									43.0%	43.5%	44.6%						
② ②下水道整備率 整備済面積（ha）/認可面積384（ha）									(H22当初) 71.4%	(H24末) 75.9%	(H26末) 83.9%						
③																	
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,250百万円	A	1,250百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0%					
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期									
幸手市下水道事業再評価審査委員会設置要綱第2条第2項に基づき、幸手市下水道事業再評価審査委員会で事後評価を行う。								平成27年10月									
								公表の方法									
								ホームページによる。									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
1-A1-1	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水枝線築造工事	L=1,208m	幸手市	H22	H23	H24	H25	H26	109	
1-A1-2	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水枝線築造工事	L=1,495m	幸手市						82	
1-A1-3	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水枝線築造工事	L=861m	幸手市						83	
1-A1-4	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水枝線築造工事	L=1,474m	幸手市						194	
1-A1-5	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水枝線築造工事	L=2,401m	幸手市						177	
1-A1-6	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	汚水	新設	汚水幹線築造工事	L=821m 約20ha	幸手市						236	
合計																881	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26	・	・	
合計																	

[illegible]

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・下水道処理人口普及率が43. 0%(H22)から44. 6%(H26)に増加したことによって良好な管渠を創造することができた。 ・下水道整備率が71. 4%(H22)から83. 3%(H26)に増加したことによって良好な環境整備を行うことができた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	44. 30%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成22年度～平成26年度にかけ、幸手市の総人口は53, 653人から52, 999人へ減少したが、下水道の整備を進めたことにより、整備区域内の人口は23, 067人から23, 628人へ増加したため、最終目標値を0. 3%上回る効果を達成した。
		最終実績値	44. 60%		
	指標②（下水道 整備率）	最終目標値	83. 90%	目標値と実績値 に差が出た要因	枝線整備のうち、下水道管を深い位置へ埋設しなければならない下流路線において、家庭排水を流入させるため、比較的浅い位置へサービス管を整備する必要性が生じたことから、整備延長に対して面積が増えず目標の達成に0. 6%至らなかった。
		最終実績値	83. 30%		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（平成27年度～平成31年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

